

講義名	経済史		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	都築 晶		
開講期・曜日・時限	前期 水曜日 2時限	授業形態	
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツ健康コース/2018年度 人間社会学部 人間健康学科 健康マネジメントコース/2018年度 人間社会学部 人間健康学科/2018年度 人間社会学部 観光学科 ホテル・ブライダルコース/2018年度 人間社会学部 観光学科 観光事業コース/2018年度 人間社会学部 観光学科/		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		備考	

主題と概要
この授業では、およそ18世紀から現代までの世界経済の大きな流れを押さえながら、工業化と経済成長の内容と意義について考える。その際には、以下の点に留意する。すなわち、まずイギリスで産業革命が起こり、経済成長を実現したこと、その工業化の波が日本をはじめとする各地に広がっていったこと、各地で工業化の進展過程とその帰結については相違があり、華々しい成長の背後では多くの矛盾や問題が生じていたことである。

到達目標
この授業の到達目標は以下の通りである。①世界経済の大きな流れをつかむ、②18世紀のイギリスの産業革命の内容と意義を理解する、③19世紀以降の工業化の進展と経済成長について理解する、④工業化と経済成長の現代的意義を考えるにあたり、以上の歴史認識がどのような示唆を与えるか、自分なりに考えてみる。

提出課題
遠隔授業中は毎回課題を出す。忘れずに提出すること。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック
毎回の課題については、その課題の翌々週に講評を附属する予定である。

評価の基準
毎回の課題及び期末のレポートで評価する。毎回の課題50%、期末レポート50%を予定しているが、得点の配分は今後の状況により異なる。変更する際は授業中もしくは講義資料にてアナウンスする。

履修にあたっての注意・助言他
授業中の私語、飲食厳禁。

教科書
. 使用しない。

プリント資料及び参考文献
・ 目を除き、授業ごとに資料をネットにアップロードする予定。 受講に際して、各自ダウンロードもしくは（対面授業に移行した場合）印刷するように。 教科書は指定しないが、参考文献は適宜授業内で紹介する。

授業計画
第1回：工業化とは何か 第2回：工業化の発展段階 第3回：工業化の種類 第4回：工業化の担い手（1）：企業 第5回：工業化の担い手（2）：企業家 第6回：企業家の類型 第7回：産業革命の起源 第8回：世界資本主義の形成（1）：綿工業製品 第9回：世界資本主義の形成（2）：鉄工業製品 第10回：世界資本主義の形成（3）：資本輸出 第11回：生活水準の変化 第12回：労働問題の発生 第13回：環境問題の発生 第14回：地域格差の問題 第15回：現代の諸問題を考える

授業形態（アクティブ・ラーニング）
ア：PBL（課題解決型学習）
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート
エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション
カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間
日々新聞・ニュースなどを見て、今起こっている問題に興味を持つこと。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考